

## 第 10 回公共施設再編計画策定検討委員会 議事要旨

日時：2018 年 2 月 27 日（火）14 時～15 時 30 分

場所：町田市役所 2 階おうえんルーム

出席者：委員長 市川宏雄氏  
副委員長 山重慎二氏  
委員 神山和美氏  
前島正光氏  
岩崎俊男氏  
大塚信彰氏  
小林祐士氏（欠席）  
通地康弘氏（欠席）  
大倉博志氏  
増山正子氏（欠席）  
長谷川隆氏

### 1. 事務局連絡事項

- ・傍聴は 4 名。
- ・本日の議題の説明。ご意見募集について、説明会について。
- ・情報紙「ぷらっと」（3 月 1 日配布予定）を配布。

（以下敬称略）

### 2. 議事（2）（3）ご意見募集について

事務局

- ・前回の振り返りについて。前回は、短期再編プログラムの後半について、議論した。公共施設にかけるお金がなくなるので再編が必要である。市民は自分が関係する施設、近い将来に関心がある。全体の考え方が個別の方向性にも感じられないといけない。といった意見をいただいた。また、意見募集は一部の意見を反映するというよりも、精度を高めることが目的である。市民が参画しやすい工夫が必要。言葉づかいなどについての意見も資料に反映するとともに、説明会でもわかりやすく説明していく。
- ・取り組み事項。マネジメント情報紙「ぷらっと」の発行、広報テレビ「まちテレ」の撮影などを実施してきた。公共施設を利用していない市民も関心を持てるように工夫した。
- ・（まちテレ映像放映）

### 3. 質疑・議論

委員長

この映像はどのくらいの頻度で流れるのか。

事務局

基本的にはアクセスしないと見ることはできない。議会中継の合間には流れる。市役所のホームページや youtube で見ることができ、ケーブルテレビの番組の間で流れる。

事務局

- ・ご意見募集について。3月20日から4月20日の1ヶ月間。市民センター、図書館等で配布する。施設やホームページでは参考資料も閲覧できるようにする。
- ・資料1の前回からの修正点について説明。
- ・閲覧用参考資料について、再編計画の概要を計画の全体が把握できるような資料として設置する予定。ご意見募集資料と同様の内容で構成。施設機能ごとの今後の方向性や短期再編プログラムも含めて200ページほどの資料を設置する。

委員長

閲覧用参考資料は、ホームページにアップするのか。委員会の議事録はどうか。

事務局

ホームページにアップする。委員会の議事録はホームページ上で見ることができる。

委員長

私の印象としては、資料の内容は細かい。見る人は見るが、見ない人もいる。具体的に動きがあるもの、ないものなど、書ける内容にもバラつきがあると思うが見せ方を工夫する必要がある。

委員

なぜ再編が必要なのか。老朽化と人口減少と高齢化、この3つを一緒に説明しないとわかってもらえないのではないかと。そうでないと、町田市は施設を作り過ぎてしまったので、削減しますというように捉えられる。一言でもよいので、書いた方がよい。

委員長

かなり重要な指摘。細かいお金の話をするよりも、老朽化と人口減少についてわかりやすく、たとえば「ぶらっと」の内容をこちらにも入れたらどうか。

事務局

紙面のスペースが限られているので、工夫する。

委員

市民の意識の中に、これからの社会がどう変化していくかという認識がないと、よい議論ができないのではないかと。人口が減少することによってどう町田市が変化していくか。ワークショップ等、直接意見交換ができる場を並行して開いていく必要がある。

委員

今回の資料は非常によくできていると思う。ご意見募集では、いろんな意見が出ると思う。基本計画に基づく再編となっているが、市民目線というよりも、行政の目線。その点では、市民から意見を出しやすい。どう取り入れていくかは課題。例えば、庁舎・窓口施設について、利用者の目線からみると、市庁舎と、成瀬の駅前センターは具体的には機能が異なるが一つの類型にまとめてある。公平性の点については、世代の違いを捉えていない。30、40代の市民はほとんど施設を利用していないということがあるので、どのように意見をまとめていくかが今後課題になる。

委員

過去では行財政改革大綱等、このような議論は全国で行われている。全国的にもこのような取り組みが行われているという文言を少し入れると、市民からも理解を得やすいのではないかと。

委員長

世の中の流れを示す。そのあたりを反映してもらいたい。

事務局

町田市だけの課題ではない。

委員長

このような計画が最も進んでいる自治体はあるのか。

事務局

計画自体は策定されている自治体も多いが、どこでも合意形成に時間がかかっている。中には首長主導で、民間活用などを積極的に実施している自治体もある。

委員

過疎化が進んでいるところは統廃合が実施されている。町田市は恵まれている状況。

委員

うなぎを食べるのに、においだけがしているという状態。全体で考える視点では良かったものも、学校や市民センターなどは、市民目線で考えると、総論賛成、各論反対という意見になりやすい。通っている施設は廃止されたくない。再編や統廃合の良いイメージを出すような取り組みを示した方がよい。学校の廃校を活用した取り組みを例として、モデルケースを紹介したらどうか。

委員長

ご意見記入用紙はどのように使うのか。市の現状を理解したかどうかについてからはじめて、3段階くらいでより具体的な施設について聞くのはどうか。結果的に、意見が細くなるのは仕方ないが、前提を理解しているかどうかを確認したい。

委員

費用の予測が載っている。第I期は65億円ということだが、38年間で86億円。どのように削減するのかが見えにくい。

委員長

たしかに、どこまで削減するかは書いていない。人口減少によって歳入がどこまで減るかについても触れていない。意見募集には細かすぎると思うが。私が心配しているのは、短期プログラムを具体的に書いていないこと。

委員

ご意見募集の細かな部分で、8Pの障がい者福祉施設、「耐用年度」という言葉に違和感がある。12Pのその他高齢者福祉施設、スケジュールの中で、施設ごとの調査研究が2回記載されている。どういうことか。14Pの下水道施設にも、計画見直し・策定が2回記載されている。異なる意味合いで記載されているとは思いますが、わかりづらい。

委員長

専門用語の取扱い、たとえばアセットマネジメントという言葉など注釈をつけるかどうか。PFIも市民にはわかりづらい。民間資金の導入といった文言を記載したらどうか。用語をわかりやすくするという作業が必要。

委員

下水道施設はインフラだと思うが、載せているのはなぜか。

事務局

下水道管ではなく、建物について対象としている。目立たないが、1ページに対象施設の定義は書いている。

委員長

この場でなくて、後でもよいので、気づくことがあったら伝えていただきたい。

委員

市民の啓発の機会として、たとえばホームページ上で意見を書くところに、先ほどのVTRのリンクを貼ったりするような工夫はどうか。

#### 4. 議事（4）（5）説明会について

事務局

- ・説明会について、計10回、市民センター等で行う。1時間説明、1時間の質疑・応答。
- ・配布資料は、ご意見募集の資料、基本計画の概要版、情報紙「ぷらっと」、アンケート。
- ・説明はどの回も同じ内容とするが、質問内容は参加者により異なるので、質疑・応答の内容は毎回異なってくる。説明会を実施しながら、質疑応答時の表現や言い回し等は伝わりづらいところがあれば随時改善しながら行っていきたい。

#### 5. 質疑・議論

委員

開催場所をみると、参加する人が限られてくるように思われる。若い人が集まりやすい場所はつukれないか。

事務局

計画ができた後にも、地区協議会など地域で説明することを考えているが、よい機会があれば実施していきたい。

委員

生涯学習センターで説明会を開催するのはどうか。立地としても集まりやすい。

委員長

告知はどのように考えているのか。

事務局

広報、町内会の回覧板、タウンニュース、公共施設にポスターを掲示する。

委員

自分の身近な話題にならないと意見を集めるのは難しい。次のステップかと思うが、具体的なモデルプロジェクトになると意見は集まりやすい。

委員

市民説明会の中で意見が出ると思うが、そうした意見も反映されるのか。

事務局

意見募集の件数に数として含めることはしないが、意見の内容は受け止めていきたい。5月の委員会の中でもご報告をしたい。

委員長

説明会の意見はかなり重要。まとめは作っていく必要はある。

委員

前回の説明会にも2箇所くらい参加したが、その反省をどのように反映するのか。先ほどの説明では、前回と同様のイメージに感じるので、たまたまそこに来ている人の意見だけになってしまうのではないか。

事務局

前回の説明会では、具体的な話がないという意見が多かった。ただ今回は、分野毎の説明をするので少しは具体的になってきている。広報という意味では、新聞社にも交渉しようと思っている。

委員

市民部の組織を活用できているのか。

事務局

地域おうえんコーディネーターなど庁内での連携はできている。

委員

再編という言葉で市民からどう意見が出てくるか、それをどう捉えているか。

委員長

公共施設再編という言葉は何度も出すことが重要。

委員

例えば、小山市民センターの説明会はどのように広報しているのか。

事務局

小山地区の地区長に話しており、回覧をしてもらっている。また、小山市民センターにもポスターを掲示、3月20日までには意見募集の資料も配置する。

委員

例えば、学校の校長会を活用したらどうか。

事務局

今回はしていない。

委員

より理解を深めるならもっときめ細かくやった方がよい。

事務局

計画策定後には、出前講座等の実施も考えている。

委員

今回は間に合わないとは思いますが、ポイントとなる小学校・中学校について、各地区の青少年健全育成会等に広報すると、若い層の参加が得られるのではないかと。

委員

説明会は高齢者しかこない。無作為抽出の郵送アンケートも有効であると思う。

事務局

来年度は予定していないが、どのくらい浸透しているのかを確認しながら進めていかなく

てはいけない。どういう手法をとるかも含めて、意見をもらっていききたい。

委員長

10回はそれなりの回数。この委員会は来年度どのような予定であるのか。

事務局

5月上旬の第11回委員会で、意見募集の結果報告と計画案を、6月予定の第12回では計画の最終確認をいただきたい。報告、説明が中心になると考えている。

委員

計画はどこまで具体的になるのか。

事務局

計画の構成案を以前お示ししたが、これを踏まえて作成し、次回委員会で計画書案としてお示しする。

委員長

最終的にまとめる中で、再編計画として策定するが、12回も議論をして、報告書を作成するだけでよいのか。今回、答申はないが、委員会からの市長への提言という形で出したい。

委員

手続きがよくわからないが、市長への提言は議会に通すのか。

事務局

議会においては、行政報告という形で報告する予定。主としては計画を策定したという事実を報告することになるが、提言をいただけるのであれば、そういった内容を含めて議会に報告することが考えられる。

委員長

いくつかのポイントについて、数枚にまとめて提言を出したい。委員の方には相談しながらまとめて提言をしたい。

委員

再編の必要性を骨子として、考え方を通すことは必要。たしかに単なる報告書ではなく、次のアクションにつながるようにしなくてはいけない。

#### 委員

市長からすると市の財政的にどうか、市民が満足するかという観点であると思う。

#### 委員

この委員会からは、財政的にどうかということまでは立ち入りづらい。基本的には、人口減少と老朽化、財政には限界があるということ。1枚か2枚ほどにできればと考えている。残りの委員会の中で、整理していきたい。

#### 事務局

提言の話については、委員長とも相談させていただきたい。改めて委嘱期間を6月までに延長することをお願いする。市民説明会にも都合がつけば参加させていただきたい。

(閉会)